

イスラエルがレバノン各地を空爆



イスラエルは23日、レバノン各地1600カ所を空爆、死者492人、1645人が負傷した。たった1日での犠牲者数はレバノン内戦以来最悪の数となった。子どもを含め多くの民間人に犠牲者が出ているが、日本でのニュースの扱いが空爆を非難せず、事実を伝えるストレートニュースになっているのがおそろしい。

Israel issues evacuation warning as it ‘deepens’ attacks on Lebanon

<https://www.youtube.com/watch?v=LmKYd8S1mLc>

イスラエルは23日、レバノン各地に大規模な空爆を実施した。イスラム教シーア派民兵組織ヒズボラが持つミサイルなどの攻撃能力を取り除く狙いがある。23日 ロイター] - イスラエル軍は23日、レバノンの親イラン武装組織ヒズボラの標的に大規模な攻撃を実施した。中略 イスラエルのネタニヤフ首相は、レバノン国民に宛てたビデオ声明を発表。

「イスラエルはレバノン国民ではなく、ヒズボラと戦っている。ヒズボラはあまりにも長い間、レバノン国民を人間の盾として利用してきた」と語った。同時に、イスラエルがレバノン南部でのヒズボラへの攻撃を強化する中、現況は「複雑化」していると述べ、イスラエル国民に対し団結を保つよう呼びかけた。

先日のポケベル爆弾に続き、大規模な空爆が行われ、日本のストレートニュースはこの事件を報じている。イスラエルのガザへの空爆は批判され、許し難い行為だと報じされる一方で、テレビ、新聞、ネットニュースはヒズボラのことを上記のように「武装組織」、「シーア派民兵組織」として報じている。ストレートニュースの短い尺で報じられ、何の解説もなければ、イスラエルの行為は許し難いものだが、その攻撃対象が「武装組織」、「シーア派民兵組織」であればやむを得ないと日本人は思うと思う。

ヒズボラは1992年のレバノン総選挙に参加し、現在ではレバノン議会・議席数128のうち14議席をヒズボラが占め、閣僚ポストも二つ有している。「武装組織」、「シーア派民兵組織」として扱われているがレバノンの正規の政治団体であることも事実。さらにヒズボラは、傘下に数多くの社会福祉団体を持っており、それらが貧困支援、医療、教育、住宅に関する支援などのコミュニティー支援をしていて、特にレバノン南部の福祉を支えている。

イスラエルのネタニヤフ首相はヒズボラはあまりにも長い間、レバノン国民を人間の盾として利用してきた」と語っているが、それはあくまでもイスラエル側の視点。何故レバノン南部にヒズボラ支持者が多いのか、それはヒズボラが一つの政党としてレバノン南部の貧困層への福祉政策を実施してきたからだ。イスラエルはレバノン南部に対してヒズボラの武器、弾薬を隠している地域に空爆を実施するから一般市民は退去するように勧告している。これはハマスの拠点がある地域を空爆するからガザから退去しなさいと勧告したのと同じ手法。

ハマスの福祉政策を実施していて、パレスチナの貧困層の支持者は多い。中東の複雑な政治的背景や各国間の力関係などを日本人が全て理解するのはかなり難しいことだと思う。それは日本のメディアが戦争、紛争の表層しか報じてこなかったから。ヒズボラも、ハマスの多くも支持者がいて、パレスチナも、レバノンの人たちも長年すみ慣れた地域がある。いかなる理由があっても、その地域が空爆される正当な理由とはなり得ない。その部分だけでも伝えてほしいと思う。(久保田弘信)